



100歳おめでとうございます！

—長寿者褒賞—

3月7日(月)、澤^{さわ}み^よ志^し氣^きさん(明宝氣良)が100歳を迎えられ、自宅へ市の職員がお祝い状をお届けしました。澤さんは好き嫌いなくしっかり食べられています。短歌が好きで今でも作品を作られています。最近ではスマートフォンで自分の子どもたちとお話をされているそうです。いつまでもお元気で。



◀澤さん
(明宝氣良)
大正11年3月7日生

2月28日(月)、玉木^{たまき}千^ち代^よ子^こさんが100歳を迎えられました。入所するグループホーム「郡上八幡バラの家」でお祝い会が開催され、市からのお祝い状や、施設からのプレゼントを手にして大変喜んでおられました。施設では、塗り絵を楽しまれています。いつまでもお元気で。



◀玉木さん
(八幡町島谷)
大正11年2月28日生

3月10日(木)、佐古尾^{さごお}文^{ふみ}江^えさんが100歳を迎えられました。入所する介護老人保健施設「ケアポート白鳳」でお祝い会が開催され、市からのお祝い状や、施設からのプレゼントが渡されました。佐古尾さんは「みなさんのおかげでここまで生きてこれました。」と喜んでおられました。いつまでもお元気で。



◀佐古尾さん
(大和町名血部)
大正11年3月10日生

3月9日(水)、佐藤^{さとう}た^たき^きさんが100歳を迎えられました。入所する「郡上乃風グループホーム木もれ陽の家」でお祝い会が開催され、笑顔で手を振り応えられました。佐藤さんの日課は朝の体操で、楽しく参加されているそうです。いつまでもお元気で。



◀佐藤さん
(八幡町初納)
大正11年3月9日生

3月22日(火) 緑白^{りょくはく}綬^{じゆ}有功^{ゆうこう}章^{しょう}受^{じゆう}章^{しょう}受^{じゆう}章^{しょう}受^{じゆう}章^{しょう} (農事功績者表彰) —受章おめでとうございます！—

岩出^{いわで}明^{あきよし}喜^{よし}さん(和良町三庫)が、農事改良の奨励など農業上の有益な取組をした人を対象とした「緑白綬有功章」を受章されました。岩出さんは飼料用稲を先駆的に導入し、環境に配慮した栽培やスマート農業にも挑み、法人経営を確立されました。また、農業委員会など各団体で役員を務め、鳥獣被害対策や農業体験の支援に尽力されました。



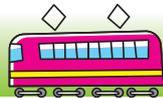
◀受章された岩出さん

3月15日(火)、猪俣^{いのまた}榮^{さかえ}枝^えさんが100歳を迎えられ、自宅へ市の職員がお祝い状をお届けしました。猪俣さんは普段、リビングで新聞を読んだりテレビを観たりして過ごされています。手先が器用で3~4年前まで針仕事をされていたそうです。いつまでもお元気で。



◀猪俣さん
(八幡町吉野)
大正11年3月15日生





3月10日(木)
16日(水)

全国大会出場者激励会

—全国大会出場おめでとうございます!—

第73回全国高等学校相撲新人選手権大会へ出場する郡上北高等学校2年青木謙太選手と、第41回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会に出場する郡上北高等学校2年下谷美鷲選手の激励会が3月10日(木)に開催されました。両選手は、ともに目標や抱負を述べられ、熊田教育長、石田スポーツ協会理事長へ健闘を誓いました。

また、3月16日(水)には、第52回日本少年野球春季全国大会へ出場する八幡中学校2年山本泰平選手(所属：岐阜中濃ボーイズ)の激励会が開催されました。山本選手は、全国大会での健闘を誓うと、熊田教育長、森下市スポーツ協会会長から激励の言葉が贈られました。



◀青木選手(左)と下谷選手(右)



◀全国大会で健闘を誓った山本選手

3月21日(月)

郡上東氏800年・古今伝授550年記念式典・記念講演「中世の武士と和歌」

—節目の年に和歌の魅力を学ぶ—

東氏が「承久の乱」の戦功で当地を加領されてから800年、東氏9代目東常縁が連歌師宗祇に「古今伝授」を行ってから550年の節目を記念した式典・記念講演会が、郡上市総合文化センターで開催されました。

式典では、東氏ゆかりの地から千葉県香取市の宇井市長、千葉県東庄町の岩田町長が出席され、開催に際しての祝辞を述べられました。また、千葉市の神谷市長からはビデオメッセージが届けられました。記念講演会では、「中世の武士と和歌」をテーマに、歴史学者の小和田哲男さん、歌人の佐佐木幸綱さん、国文学者の竹島一希さんが和歌の歴史や魅力、奥深さを熱く語られました。



◀記念式典の様子



◀対談の様子(右から佐佐木さん、小和田さん、竹島さん)

3月26日(土)

小川小学校閉校式・小川保育園閉園式

—明治以降150年近い歴史に幕—

明宝小川地区の小川小学校、小川保育園の3月末での閉校・閉園に伴う式典が地区住民や卒業生の見守りなか開催されました。第一部の式典では、児童園児の発表、校旗返納、最後の校歌斉唱、第二部の閉校行事では、児童がドローンで撮影した閉校記念碑紹介映像が流され、児童4人が一輪車で会場を一周しながら退場し、長い歴史に幕を閉じました。



◀最後の校歌斉唱をする児童と出席者



◀小田校長から熊田教育長へ校旗返納



◀小川保育園の思いを発表する園児